

総務教育常任委員会資料

(平成24年3月1日)

〔件名〕

- ・バードスタジアム国際交流基金（平成24年度分）の取崩しについて
【鳥取力創造課】・・・1

未来づくり推進局

バードスタジアム国際交流基金(平成24年度分)の取崩しについて

平成24年3月1日
鳥取力創造課
交流推進課

1 経緯

一部老朽化し、また、機能強化が求められているバードスタジアムの改修に、(財)鳥取市公園・スポーツ施設協会に設置しているバードスタジアム国際交流基金を活用し、現在、芝生張替工事を行っています。

平成24年度の改修工事においても同様にバードスタジアム国際交流基金を活用したい旨の考えがバードスタジアム国際交流基金管理運営委員会で、鳥取市及び(財)鳥取市公園・スポーツ施設協会から示されました。

2 基金取崩しの考え方(鳥取市、(財)鳥取市公園・スポーツ施設協会)

とりぎんバードスタジアムは、県高校総体や少年サッカー大会、県サッカー選手権決勝大会の会場として使用されるなど、県のサッカー振興の拠点施設であり、また、ガイナレ鳥取のホームスタジアムとしてJ2の試合を行っている。しかしながら、平成7年の建設から16年を経過し、老朽化が進んでいること等から、県内のサッカー振興及びガイナレ鳥取の更なる飛躍のため、平成23年度のピッチ芝の張り替えに続き、夜間照明施設器具等取替、オーロラビジョン設置を行うための財源として、バードスタジアム国際交流基金を充当したい。

3 県の方針

平成23年度のバードスタジアム改修(芝生張り替え)にあたっては、事業内容を勘案し基金の取崩しに同意しており、平成24年度の工事についても同様の考え方で、事業費に対応する基金の取崩しに同意する方向で検討する。(なお、ピッチ芝張替工事については、当初87,000千円を基金から充当する予定であったが、実施に伴う設計変更により、47,517千円に減額して充当する。)

【バードスタジアム改修工事計画(基金を活用するもの)】 (単位:千円)

年度	工事計画(内容)	事業費	基金充当額	備考
平成23年度	ピッチ芝張替工事(実施中)	114,954	47,517	当初計画:87,000 ※一部設計変更
平成24年度	夜間照明施設器具等取替	161,950	249,483	鳥取市予算提案中
	オーロラビジョン設置	432,600		
計			297,000	基金全額を取崩し

※上記の財源として、スポーツ振興くじ助成金(toto)、バードスタジアム国際交流基金および一般財源(鳥取市)を充当する予定。

※今後鳥取市では、独自に観客席屋根設置を検討していく予定。

《参考》バードスタジアム国際交流基金の概要

(1) 造成年月日 平成7年11月14日

(2) 造成額 400,000,000円(現在の基金残高 297,000,000円)

(内訳) 鳥取県 200,000,000円

鳥取市 200,000,000円

※ワールドカップ2002の「エクアドル」チームの鳥取キャンプ受け入れのため、H14年度に63,000,000円の基金取崩しを行っている。

※ガイナレ鳥取のJ2昇格に必要な財務基盤強化に向け、県と市が当該基金を財源として出資するため、平成22年度にそれぞれ20,000,000円の基金取崩しを行っている(平成22年11月補正)。

(3) 基金管理主体 財団法人鳥取市公園・スポーツ施設協会

(4) 管理運営委員会 交流推進課長が委員に就任